

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2022年 夏号



第2回イコウ!春の写真コンテストデジタルカメラ部門 審査委員長賞受賞作品「初夏の光」(作:いくちゃんさん<バスセンター大船>)

【巻頭特集】

そこに息づくのはチャレンジと誇りの系譜

ソニーグループ特例子会社 ソニー希望・光(株)

代表取締役社長 大庭薫氏 インタビュー

就労支援の「人」

参議院議員/自由民主党 障がい者問題調査会 事務局次長/歌手 今井絵理子先生

いこう!就労移行支援事業所へ

パイオニア精神で拡げ続ける支援の輪—ティオ(大牟田築町・新栄町)

第2回イコウ!春の写真コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

そこに息づくのは チャレンジと誇りの系譜

ソニーグループ特例子会社※ ソニー希望・光株式会社
代表取締役社長 大庭薫氏インタビュー

※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

日本を代表する世界的企業グループであるソニーグループ株式会社（以下、ソニー）。同社の特例子会社として、障がいのある方々の未来を切り開くチャレンジの場となっているソニー希望・光株式会社（以下、ソニー希望・光）。ソニーグループは、戦後間もなくより日本の産業を創意工夫と熱意で支え、日本躍進の原動力となったことは多くの人の知るところですが、そこに根付いている企業カルチャーは、ソニー希望・光で働く方々にどのように受け継がれているのでしょうか。未来への展望を含め、大庭薫代表取締役社長にインタビュー形式でお話を伺いました。

ソニー希望・光が誕生した背景と、そこにある想いについて教えてください。

ソニーグループでは、40年以上前から障がい者雇用に取り組んでおり、1978年に大分県にてソニー・太陽株式会社を設立しました。ソニーグループの創業者の一人である井深大は、同社に対して「障がい者だから

という特権なしの厳しさで、健常人※よりも優れたものをといった信念をもって」という言葉を贈りました。当時、障がい者は守られるもの、簡単な作業しかできないという風潮の中、障がいがあったとしても一人の社会人としてペストを尽くしてほしいという思いを込めたのです。

その流れを受けて2002年、ソニー希望・光が知的障がいのある方に就労の機会を提供することを目的に設立されました。今年で20周年を迎えましたが、現在では知的障がいのみならず精神障がいや発達障がいなど、障がいの種別に関わらず、130名余りの方々（知的障がい6割・精神・発達障がい3割超）に活躍していただいています。なお、2018年時点では知的障がいの方が9割でしたから、精神・発達障がいの方々が急速に増えてきているということになります。

もちろん、井深の考え方は当社にも深く根付いています。まず、社員にはソニーグループの一員であること、ソニーグループの商品・サービスに関わっているという気概と誇りを持ってほしい。障がいがあるために、本人が努力をしてもできないことは、会社が配慮・

※「丈夫な人はいるが、常に健康な人はいない」という井深大氏の考え方を踏まえて表記したものの

ソニーグループ株式会社（Sony Group Corporation）について

- ❖所在地：東京都港区港南 1-7-1
- ❖設立：1946 年 5 月
- ❖資本金：8,804 億円（2022 年 3 月 31 日付）
- ❖連結従業員数：108,900 名（2022 年 3 月 31 日現在）
- ❖2021 年度連結売上高：9 兆 9,215 億円
- ❖主要営業品目：ゲーム&ネットワークサービス、音楽、映画、エンタテインメント・テクノロジー&サービス、イメージング&センシング・ソリューション、金融及びその他の事業



ソニーグループの創業者の一人
故井深大氏



ソニー希望・光株式会社 代表取締役社長

企業在籍型職場適応援助者（ジョブコーチ）

大庭 薫 Kaoru Ohba

工夫をして補い、本人には障がいに甘んずることなく、自分でできることに尽力して欲しいと考えています。

なお、障がいの有無・国籍・性別などの属性に関わらず、一人ひとりのスタッフが個性を活かして成長することでソニーグループ全体の成長に貢献するという考え方は、ソニーグループの人材理念となっています。

※スタッフの皆さまが行う業務の概要について教えてください。

ソニー希望・光では、挑戦を続けることで業務領域を拡大してきました。清掃やメール集配といった軽作業からスタートし、印刷や総務力ウンターなど、事務系作業、そしてソニーグループの事業に携わるIT・映像系業務へと拡げてきました。

※オフィス環境整備について

清掃業務ではソニーの本社ビルやソニーシティ大崎、ソニー

シティみなとみらい、厚木テクノロジーセンターの社員食堂や廊下、階段、トイレ、外周などを担当しています。

厚木テクノロジーセンターでは、リユース・リサイクルを行っており、使用済みになったノートPCを分解・分別することで鉄、非鉄金属などを有価物として廃棄物処理コストの削減に貢献しています。

※事務サポートについて

設立当初より行っているメール集配に加え、印刷や書類管理などの総務・人事系業務については、ソニーグループ内で行われる研修テキストの印刷や製本、名刺の作成、契約書など書類のデジタル化、休職・退職・復職者向けへの書類送付など、多岐にわたる業務があります。

最近では、新型コロナウイルスワクチン接種の事務処理も行いました。もちろん、全ての業務において個人情報取り扱いには、特に注意を払っています。

※IT・映像系について

例えば、発売前、発売後のゲームにバグ（プログラムの誤りや欠陥）が無いかを確認し、報告する業務があります。どうしても想定とは違う現象が起きてしまうことがあるのですが、ここで、例えば、「あるゲームステージのありとあらゆる壁にぶつかり続ける」など、地道な作業を通して発見していくのです。

また、最近特に注力している業務としては、多くのソニー製品に搭載されるAI機能の開発に必要な「画像アノテーション（AIの学習には大量の教師データが必要であり、その教師データを作り出す作業）」業務が挙げられます。例えばAIが人の笑顔を判断できるように「どのような表情が笑顔なのか」を教える必要があります。そのために、何万枚もの顔の画像から笑顔にマーキングをし、ラベリングをするという業務が必要になってくるのです。

ソニーグループ全体の成長に貢献

オフィス環境整備業務の風景（写真はコロナ禍以前に撮影）



＜清掃＞

ビルクリーニング技能士によるプロフェッショナル指導とジョブコーチ資格保持者による障がいの特性を活かしたサポートのもと、スタッフ一人ひとりにあつらえた道具・治具などを使用しています。



＜リユース・リサイクル＞

不要になったファイルや文房具を集約し、綺麗にして再活用できるような管理も実施しています。

事務サポート業務の風景（※印の写真はコロナ禍以前に撮影）



<メール>

外部から届く郵便物および社内便などを各階の部署にお届けすると共に回収をして台車で運搬します。ここでは、時間厳守と確実性に特に気を配っています。



<印刷・書類管理など>

コロナ禍によってソニーグループでもテレワークの方が増えたため、グループ社員に対する書類送付業務も重要な業務になっています。

ソニーの風土が一人ひとりの自立を促す

ソニーの社風が息づくような事例があれば教えてください。

※常に創意工夫を

作業を行うにあたり、ソニーグループの商品開発エンジニアとソニー希望・光のスタッフがミートイングを重ね、業務ツールを共同で開発しています。より使い勝手の良いツールが開発されることで、ＩＴスキルが高くないスタッフでも、関連業務に携わることができるのです。

※障がい種別で業務を分けない

ＩＴ・映像系業務は精神、発達障がいのスタッフだけで実施しているかと聞かれることがあります。が、そのようなことはありません。ソニー希望・光では障がい種別で業務を分けるということはありません。一人ひとりのスタッフが個性を活かして成長することが、ソニーグループ全体の成長に貢献するという考えがあるからです。

例えば、先にお話しした業務

ツールを開発することで、ＰＣ初心者でも一部の業務工程を任せられ、活躍の場が拡大するのです。午前中は清掃業務を、午後は画像アノテーション業務を担当するというスタッフも増えてきています。

※自身の業務に対する誇り

業務の中には、ソニーグループの製品の品質向上に直接携わるものも多くあります。自分が行った画像アノテーションやバグ発見業務が世界中で販売されているソニー製品の品質向上に繋がるといふことに、やりがいを感じると言ってくれるスタッフは少なくありません。パートナーであるソニーグループの商品開発のエンジニアからも、彼らのこだわりや気づき、根気のある作業に高い評価をいただいています。

※コロナ禍においてもチャレンジを忘れない

コロナ禍によりソニーグループ

プスタッフの在宅勤務が定着することで、清掃やメール集配、総務カウンターなどの現場対応業務は縮小傾向となっており、現在はＩＴ映像系の業務拡大に注力しています。

清掃など軽作業を担当していたスタッフにもＰＣスキルを習得して新しい業務にチャレンジしてもらっており、これまで自宅やグループホームでインターネットを使っていなかったスタッフが、自ら発的に在宅業務にチャレンジしたいと申し出てくれたケースもありました。

スタッフの皆さまへの接し方について教えてください。

基本的には、知的障がいだから、精神障がいだから、〇〇のように配慮しよう、ということはありません。スタッフは皆、一人ひとり異なる個性を持っていますから。こちらから「ああしましょうか、こつしましうか」ではなく、本人から〇〇をして欲しい、と発信されたものに対してサポートをす

ＩＴ・映像業務の風景（※印の写真はコロナ禍以前に撮影）



本文記載のゲームや画像アノテーション関連業務の他、ＡＶ／ＩＴ ツールを活用した映像や紙メディアのデジタルアーカイブ、データ入力・処理などの業務もあります。



特に集中力を要するＩＴ・映像業務。より業務に集中したかったり、体調や気分が優れなかったりする場合には、個室を使用することもできます。

特権なしの厳しさで、健丈者よりも優れたものを

るようにしています。前もつての配慮に対しては、「できない」とこちらから決めつけているような印象があるのです。スタッフに対しては、できるものは積極的にやっていただきたいと思っています。

ソニーグループには「自分のキャリアは自分でつくる。自分がやりたい仕事にチャレンジをしていく」というカルチャーがあります。それをソニー希望・光でも実践していきたいのです。

スタッフの皆さまに対するサポート事例を教えてください。

一人ひとりと向き合い、対話を続けることで必要なサポートを行うようにしています。例えば、清掃スタッフを使う道具を載せるワゴンですが、作業内容によって載せる道具も、スタッフの身長も違います。本人からの様々な要望に基づいて、一人ひとりに適したサイズのワゴンを作っています。

また、オフィス内の物音が苦手だったり、集中できない場合には一人になれる場所に移ったり、休



スタッフの方々とチャレンジの毎日を送るソニー希望・光人事課の本橋一博さん。

養室を利用することなどを勧めています。制度としては、有給休暇とは別に月一回の通院休暇制度、在宅勤務制度などを設け、働きやすい環境づくりを進めています。

スタッフの皆さまの自立に対する考え方について教えてください。

ソニーグループでは、障がいの有無に関わらず、仕事を通じた自立を追求しています。一人の社員として成果を上げ続けることで成長することを求めています。自立を支援するサポーターを配置し、動機付け、コミュニケーション、業務と育成支援を行っています。

本人の自主性を尊重することを中心がけ、「指導」するのではなく

「支援」する役割となります。スタッフ自らが業務を完遂することを目指しており、サポーターには適宜、適切なアドバイスを行的てもらっています。

一律のルールを当てはめず、個々の自主性に任せるということは、サポーターにとっても難易度の高いコミュニケーション力が求められ、必然的に業務領域も広がっています。日々、社員と共にサポーター自身も挑戦し、成長を続けているのです。

貴社の今後のステップアップのビジョンについて教えてください。

私たちは20年間挑戦を続けることで信頼を得て、多くの業務を任せていただけてきました。これからもスタッフ一人ひとりが挑戦できる場を提供し続けていきたいと思っています。

ソニーの存在価値は「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」です。ソニー希望・光には、個性豊かなスタッフが大勢います。彼ら

のクリエイティビティとそれを活かすソニーグループのテクノロジーを融合することで、ソニーグループの事業、ソニーグループの企業価値拡大に貢献していきたいと考えています。

障がいの有無に関わらず、誰もが輝き活動できる職場づくりを進めることは、新たな障がい者雇用の姿を作り、より多くの障がいのある方、そしてパートナーであるソニーグループ社員にも成長の機会を提供するモデルになると信じています。

貴社に応募を考えている就労移行支援事業所の利用者さんたちへのメッセージをお願いします。

私たちが大切にしていることは、挑戦する気持ちです。「障がい者だからといった特権なしの厳しさで、健丈者よりも優れたものを」という信念を持って、ぜひとも挑戦していただきたいと思います。障がいの有無に関わらず、誰もが輝ける場所・社会と一緒に作ってまいりましょう。

ソニー希望・光株式会社

- ❖所在地：東京都港区港南 1-7-1
- ❖事業所：東京都品川区大崎（ソニーシティ大崎）
神奈川県横浜市（ソニーシティみなとみらい）
神奈川県厚木市（厚木テクノロジーセンター）
- ❖設立：2002年4月
- ❖社員数：174名（内 障がい者 130名）
- ※2022年5月1日現在

<https://www.sonykibou-hikari.co.jp>





いこう! 就労移行支援事業所へ!

ジュリエットバナナのネーミングの由来にもなった株式会社希春の代表取締役兼ティオの管理責任者の藏満樹理さん

(下) バナナは現在、道の駅やネット上で販売されている。

ジュリエットバナナ 3本セット 購入はこちらから



ジュリエットバナナ 5本セット 購入はこちらから

<今回お伺いした事業所>

就労移行支援事業所

大牟田築町
新栄町



開放感のあるおしゃれなイタリア料理店を改装したティオ大牟田築町。落ち着いた空間の中、利用者さん一人ひとりに合わせた支援が行われている。気持ちの良い日には、テラスを開けてバーベキューをすることも。

パイオニア精神で広げ続ける支援の輪



バナナ農園(上)とすぐ横に位置する畑(下)でも農業体験プログラムが行われている。



全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

大牟田市に新名物が誕生

福岡県大牟田市。2022年4月、かつては炭鉱の町として栄えたこの地に、あらたな名物が誕生した。それは、皮まで食べられる(超)希少な国産バナナ「ジュリエットバナナ」だ。甘味が強くねっとりしていて、皮はシャキシャキ。テレビや新聞などにひっきりなしに取り上げられている話題のバナナの栽培に携わっているのが「ティオ大牟田築町」と「ティオ新栄町」だ。両事業所の運営会社の代表(事業所の管理責任者兼務) 藏満樹理さんがバナナ栽培の取り組みについて語ってくれた。

「利用者さんは農業体験プログラムとして24時間クラシック音楽が流れる農園で作業をされます。心穏やかになる音楽と温かな日の光で、元気になってもらっています。また、この体験は

公務員への就職も：抜群の就労実績

ティオの就労移行支援のポイントは、豊富なプログラムだけではない。その就労実績も、群を抜いたものがある。特に、テレワーク職種や公務員などへの就労実績は特筆すべきだろう。

地域の人材教育・支援総合企業として

ティオの運営会社である(株)希春は、他にも放課後等デイサービスやグループホームなどを多角的に展開している。自立支援ホームを利用しながらティオに通所している方もいる。「笑顔と寄り添い」をキーワードとして総合的な人材教育・支援事業を実施しているからこそ、より一人ひとりのニーズに合わせることができるのだ。地域に根差した企業として、その果たしている役割は非常に大きいと言える。

ご家族とのコミュニケーションのきっかけにもなっているようです。農業がしたくて通所される方もいらっしゃるかもしれませんね。」

なお、農業の他にもヨガやクッキング、デイキャンプなど、ティオには利用者さんの心と体を癒しつつ鍛える様々なプログラムが用意されている。



グループホーム(上)と併設されている建物にある食堂(下)。



コロナ禍以前よりテレワークの障がい者就労における可能性を見出していたため、テレワーク用の在宅訓練プログラムも充実しているのだ。

信頼で地域の就労移行支援をけん引

「就職がしたい、と思われてもはじめはどうしたら良いのか分からず、また就労移行支援事業所を利用するのも勇気がいると思います。私たちは、あなたの勇気に応えたいと思っています。癒しの空間の中で、ぜひサポートをさせていただきます」(藏満樹理さん)

大牟田市における就労移行支援の創成期から支援を続けているティオ。障がいのある方の就労のためには何が必要なのか。どのようなスキルが結果につながるのか。手探りで考え、つくり上げてきた。そこにある信頼感は、病院や福祉関係機関からの利用者さん紹介が多いことから窺うことができる。



通所によって明るく朗らかに。イラストの色使いの変化と共に心境の変化も見て取れる。

事業所お問合せ先情報

●ティオ大牟田築町

福岡県大牟田市築町 4-1

●ティオ新栄町

福岡県大牟田市東新町 1-3-9
有明塾ビル 1F 2F

TEL: 0944-32-9604

受付時間 10:00 ~ 17:30 (月~土)

<https://kibaru.jp/>

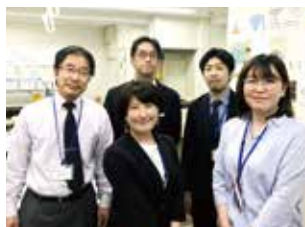


わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

毎日楽しくステップアップ！

ルミノーズ川崎登戸（神奈川県）



神奈川県川崎市多摩区登戸
2698 クレール向ヶ丘 2 階

◆TEL 044-299-9622
◆E-MAIL noborito@luminoso.co.jp

<http://www.luminoso-kawasaki.org/>

これが事業所の名物ワーク！

ゲームで磨く！チームワーク

様々なゲームを通して、皆で楽しみながら合意形成や意思表示の仕方について訓練しています。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

障がい特性は、障がい名が同じでも人それぞれです。ルミノーズ川崎登戸では、お一人お一人の違いを大切に、その方のニーズやご希望に応じた支援で、コロナ禍でも就職を勝ち取っています！ 私たちと一緒に就労へステップアップして参りましょう！

あなたの夢のぷらすになりたい

ぷらす守口（大阪府）



大阪府守口市京阪本通
1-3-7 高田屋守口ビル 4 階

◆TEL 06-6998-1555
◆E-MAIL plus2@mx1.alpha-web.ne.jp

<http://www.plus2.co.jp>

これが事業所の名物ワーク！

楽しく学ぼう、ビジネススキル。
ゲーム大会やたこ焼きも作ります。
大阪だもん！



障がいをお持ちの方へのメッセージ

ぷらす守口では、気の長いスタッフが揃っています。自己表現が苦手、人前で話すのが不安、電話は怖い、仕事を覚えられか心配…様々な方が通われていますが、みんな元気を取り戻しています。まずはお気軽にご連絡をください。

安心できる場所で、本当の自分を見つけませんか

エール近鉄八尾西口（大阪府）



大阪府八尾市北本町 1-3-30
ハーモニアス北本町 2F 201A

◆TEL 072-990-2135
◆E-MAIL info.nishi@ailes-osaka.com

<https://risele.net/kintetsuyaonishi/>

これが事業所の名物ワーク！

挽きたてコーヒーを飲みながらの憩いの場

同じものを皆さんで楽しみながら、気軽にコミュニケーションスキルを身につける練習にもなります。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

はじめの一步を踏み出すのは、不安で勇気がいるものです。エール近鉄八尾西口事業所に来る一歩目は大変ですが、その後はスタッフが全員でお手伝いしていきます。落ち着いた環境の中で本来の自分を見つけながら幸せな就職と、長く働き続けられるよう支援を続けてまいります。

一緒に「グッドライフ」を見つけましょう

グッドライフパートナー宮崎（宮崎県）



宮崎市宮田町 11-32
宮崎ひなた会館 501 号

◆TEL 0985-83-9041
◆E-MAIL info-m@good-life-partner.com

<https://good-life-partner.com>

これが事業所の名物ワーク！

ワークトレーニング（作業 / 事務）

実践に基づいたトレーニングで人気のプログラムです。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

グッドライフパートナー宮崎は、画一的なプログラムではなく、一人ひとりのプログラムにこだわります。小さな目標を一步步乗り越えながら、一つずつ達成していくことで「不安」を「自信」に変え、本来の自分の力を感じ、さらに自然と力がついてくる。これがグッドライフパートナー宮崎の支援です。本来のあなたでいられる場所、未来を一緒に作りましょう。

第2回イコウ!春の写真コンテスト結果発表 Ikou! Photo Contest

イコウ<2022 年春号>にてご案内した「第2回イコウ!春の写真コンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。
ここでは、読者の皆さまの作品の中から<デジタルカメラ部門><スマートフォン部門>に分けて2作品ずつ表彰します。

<主催>  一般社団法人社会福祉支援研究機構

デジタルカメラ部門



審査委員長賞 『初夏の光』



いくちゃんさん
(パスセンター大船 / 神奈川県)

表彰の言葉

非常に美しくバラを写し出しています。一眼レフ機ならではの柔らかいボケ味が効いています。加えて丸くキラキラした「玉ボケ」をうまく使いレンズ描写を最大限活かした作品作りができています。光の当たり方もよく花卉の色が鮮やかに美しく映えています。花の配置、構図のバランスも秀逸な作品です。



社会福祉支援研究機構 理事長賞 『おかあさんといっしょ』

はぴよさん (LIIMO 阿波座 / 大阪府)



表彰の言葉

写真撮影のポイントには、いかに素敵な風景を切り取るか、ということがあります。二匹ならんだふっくらすめ。心地良いそよ風も感じることのできる作品です。

審査委員長 写真家 熊切大輔氏

東京生まれ。東京工芸大を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ドキュメンタリー・ポートレート・食・舞台など「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。スナップで街と人を切り撮った写真集「刹那 東京で」を2018年に発売と共に写真展を開催。2021年には写真集&写真展「東京美人景」そして「東京動物園」の三部作で東京の今を撮り続けている。日本大学芸術学部写真学科、御茶ノ水美術専門学校では講師を務める。公益社団法人日本写真家協会理事。



スマートフォン部門



(グッドライフパートナー) 宮崎／宮崎県
ふじさん



社会福祉支援研究機構 理事長賞
『あたらしい春』



(エール近鉄八尾西口／大阪府)
永井伝道郎さん



審査委員長賞『深夜彷徨』

表彰の言葉

桜を見上げておにぎりをおくり。「僕もこの木のように大きくなるぞ!」とこれから健やかに成長していく、輝く未来を感じさせてくれる作品。木と人物の配置のバランスも素敵です。

※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

表彰の言葉

スマートフォンのカメラの性能は高性能ですが、暗い所や逆光などの描写はまだ一瞬レフ機に負けてしまいます。それを逆手に取ってノイジーな、そしてフレアがかかった光の描写など弱点を表現に変えて荒々しい作品に仕上げています。スマホならではの肉眼で見ると一味違った世界を上手く描いています。

D. Kuma

手書きで！ データで！ 『イコウ! 第2回イラストコンテスト』のご案内

どなたでも参加できます。好きなテイストのイラストを描いてみてください！

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構

❖テーマ

あなたの好きなもの・描きたいものであればどのようなものでも OK !

❖募集部門

- ①手書き部門 (テイスト自由・スキャンデータにて提出)
- ②データ部門 (JPG もしくは PDF データにて提出 ※使用ソフトは自由)

❖賞および賞品

- 審査委員長賞 (各部門 1 名)
 - 社会福祉支援研究機構 理事長賞 (各部門 1 名)
- ※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

❖募集期間

2022 年 6 月 1 日 (水) ～ 2022 年 8 月 20 日 (土) 16 時

❖応募方法

作品に作品名と氏名 (ペンネーム可) を添えて、ご利用の就労移行支援事業所 (社会福祉支援研究機構加盟) にご提出ください。

❖結果発表

本誌イコウ次号<2022 年秋号>の誌面にて受賞者を発表いたします。

<事前講習イベントのご案内>

※色鉛筆・鉛筆・ボールペンをご準備ください

繋がっているよ! 笑顔になろうよ!

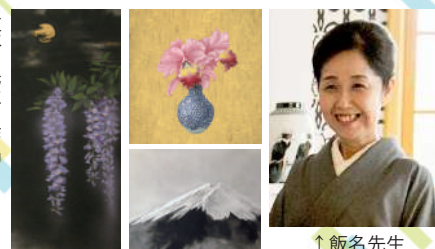
審査委員長・飯名京美先生による
「誰でも描けるイラスト講座」

2022 年 7 月 30 日 (土) 13:00 ～ 13:50

実施方法: ZOOM (ウェビナー使用)

講師: 飯名京美先生 (日本画、水墨画家)

→ 飯名先生の作品



↑ 飯名先生

Person of employment support

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

参議院議員 / 自由民主党 障がい者問題調査会 事務局次長 / 歌手

今井絵理子先生 Eriko Imai

政治家としての6年間の歩み（一例）

特別支援学校用の教科書の改訂 / 読書バリアフリー法・医療的ケア児支援法などを議員立法にて成立 / 電話リレーサービス法を成立 / 難聴児支援予算の拡充 / 沖縄こどもの貧困対策予算の拡充 他

マイクを手放さなかった幼少期

私が沖縄から上京してダンス&ボーカルグループ「SPEED（スピード）」のメンバーとしてデビューをしたのが中学一年生の時です。きっかけはそれよりもっと前、5歳の時から頻繁に地元のカラオケ大会に出場しており、これがタレント養成所の方の目にとまり、スカウトを受けたことです。母曰く、5歳どころか2歳の頃からマイクを手放さなかったということですよ（笑）。

障がいと向き合い、思ったこと

21歳の時に息子を出産したのですが、間もなく耳に障がいがあることが分かりました。はじめこそ「子供の頃から音楽を愛し、生業としていた私に、神様はどうして？」とも思いましたが、息子の横顔を見ていると、「耳からの情報は得られないかもしれないが、目からは得られる。この子に素晴らしい景色を見せてあげたい」という想いがわいてきて「障がいを受け止めて、笑顔の子育てをしていこうと考えるようになりました」。

息子が3歳の時に、「24時間テレビ」からオフアールがあり、そこで初めて息子の聴覚障がいについて公表しました。私が伝えたかったことは、「障がいは個性である。不便であるかもしれないけれど、決して不幸ではない」ということです。そして同時に「その個性や特性を認め合える社会をつくりたい」という想いを抱いていました。

ちなみに、現在17歳の息子はプロレスラーとなっており、（一社）社会福祉支援研究機構の加盟事業所の

皆さまと共に障がい者福祉の未来を変えたい

スタッフさんや利用者さんには、プロレス団体HEAT-UP代表のTAMURAさんともどもお世話になっています。

ボランティアをきっかけに政治家へ

SPEEDなどのアーティスト活動の傍ら、「障がいのある方に対して私ができることは何だろうか？何かお役に立てることはないだろうか？」と考える、ボランティアを10年近く、議員になる前まで行いました。息子と共に全国各地の支援学校や養護施設などを回って歌を届ける活動をしていたのですが、そこで山東昭子現参議院議長と一緒することがあり、そこから国政で働きませんか、とお声を頂いたのです。これからNPOを立ち上げて就労移行支援を行うなど、歌以外の支援活動をしていこうと勉強をしていた矢先のことでした。

山東先生からは「本当に障がいのある方々の力になるためには政治を志すのが良い。政治家になれば自らの努力と支援で福祉の予算も確保できるし、制度を変えることもできる」と言われ、今までの自分の活動は政治の世界につながっていると感じ、政治家になる決心をしました。

大切にしたい「現場主義」

ボランティア活動をしていた時から、私は常に現場主義でいたいと考えています。自分の経験や体験を通してものごとを考え、政策につなげていきたい。最

も大切なのは現場の声です。足を運んで見て、感じて。最近、骨盤骨折をしてしまい、車イスでの生活となっていますが、この出来事を通して車イスで利用できるトイレや飲食店の少なさを痛感しています。これも、自分自身が車イス生活となったからこそ気づきます。

障がい者就労に携わってみて

障がい者就労については、就労の場における障がいの種類や特性を踏まえた工夫が欠かせないでしょう。私も耳の不自由な方を秘書として雇用していますが、日々コミュニケーションをとりながら、より良い、円滑な業務の形を探っています。当人からも「仕事をして良かった」と達成感を持ってもらえるように。今後は、他の種類の障がいのある方とも一緒に働き、そこにはどのような課題があるのか、どうすれば理想的な就労環境がつけられるのかを見出していきたいと考えています。

引き続き、障がいのある方々の支援を

議員2期目となった折には、もちろん障がいのある方々の支援を続けていきたいと思っています。障がいのある方の中には、ご自身の悩みや困りごとを声に出してはいけないと思われる方もいらっしゃると思いますが、どんな声をあげて頂きたいと思っています。政策や政治は皆さまのためにあります。皆さまと共に、障がい者福祉や支援環境の未来を変えていければと考えています。



最新の取り組みのご報告

令和4年度 一般社団法人社会福祉支援研究機構 加盟事業所向け勉強会を参議院議員会館にて実施

より深い制度理解と幅広い交友関係を構築するために

4月26日、厚生労働省の社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課課長、津曲共和様に「経営指標から見る就労移行支援の推移と今後」をテーマに講演を行って頂きました。質疑応答では、全国の加盟事業所の代表者との情報・意見交換が行われました。



同日、参議院議長の山東昭子先生と参議院議員の今井絵理子先生とお話する機会があり、機構の活動に対する温かなエールをいただきました。



スペシャルプログラム「繋がっているよ!笑顔になろうよ!」第33弾 『スマホやカメラで楽しむ!写真ポイント講座』

日々の生活に、ちょっとした彩と楽しさを

5月4日、(公社)日本写真家協会 理事の熊切大輔先生に、「スマホやカメラで楽しむ!写真ポイント講座」をZOOMにて行っていただきました。コンセプトは「誰でも手軽に、素敵な写真を」。例えば影を消すために紙を置いたりするなど、ちょっとした工夫で写真がぐっと良くなることを学びました。



なお、ここで皆さんが学んだ成果の発表の場として、「フォトコンテスト」を実施。こちらにもとても多くの応募がありました。本誌8-9Pにて結果発表をしていますので、こちらもぜひご覧ください。

スペシャルプログラム「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」では、コロナ禍中、ビデオ会議システムZOOMを使い全国各地の就労移行支援事業所だけではなく、在宅訓練をされている利用者さんとも繋がり、様々なイベントを行っています。

近日の開所情報 2022年6月1日現在 79事業所

—2021年4月開所—

◆ティオ札幌駅前◆



北海道札幌市北区北6条西
6-2-11 第3山崎ビル3F
<https://tio-sapporo.jp/>
TEL :011-299-2745

◆フィン香椎駅前◆



福岡県福岡市東区香椎駅前
1-8-14 エボックビル202
<https://fin-yj.jp/>
TEL :092-692-6577

◆テイクハート土浦◆



茨城県土浦市有明町2-31
関鉄土浦ビル16F
<http://takeheart.or.jp/>
TEL :029-875-6027

◆テイクハート成田◆



千葉県成田市花崎町945
SignNarita 4B号室
<http://takeheart.or.jp/>
TEL :0476-85-8289

一般社団法人 社会福祉支援研究機構 加盟就労移行支援事業所

今後も日本各地で開所・加盟が
予定されています。



❖題字の作者



MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティなどを務め、気持ち伝わる華弁講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代の人々と折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可）／イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず）／川柳／俳句／短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和4年3月31日時点

2,272 名就職

資格合格実績累計

令和3年6月30日時点

6,425 名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルキャリアリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

